

報告事項 ケ

国際交流ライブラリー講演会の開催について

国際交流ライブラリー講演会の開催について、別紙のとおり報告します。

平成30年12月20日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

国際交流ライブラリー講演会の開催について

平成30年12月20日

図 書 館

鳥取県立図書館では、環日本海諸国をはじめとする各国の地域文化・歴史等について理解を深めること及び図書の利用促進を目的とし、国際交流ライブラリー講演会（全3回）を開催している。

今年度は、言語（英語、ロシア語、漢字）をテーマに市町村立図書館と共催し、3会場で開催した。また、会場では講演会の関連図書展示を行った。

1 第1回（中部会場）開催結果

(1) 日 時 平成30年4月22日（日）午後2時から4時まで

(2) 会 場 倉吉交流プラザ2階 第一研修室

(3) 共 催 倉吉市立図書館

(4) 後 援 公益財団法人鳥取県国際交流財団

(5) 内 容

ア 演題 「絵本の多読からペーパーバックへ！ 会話へ！」

イ 講師 酒井 邦英 氏（NPO多言語多読理事長）

ウ 内容 やさしい英語を楽しく大量に読むことで英語に親しんでいく「英語多読」。実際に多読用図書や絵本へ触れながら、その魅力を紹介する。

(6) 参加人数 76名

(7) 参加者の感想

- ・講師の熱のこもったお話を大変楽しく聞いた。今後も多読についての講演会を継続してほしい。
- ・早速、英語多読を始めたい。
- ・もっと英語の絵本を読みたいと思った。多読用の本を増やしてほしい。

2 第2回（西部会場）開催結果

(1) 日 時 平成30年12月1日（土）午後2時から4時まで

(2) 会 場 米子市立図書館 2階 多目的研修室

(3) 共 催 米子市立図書館

(4) 後 援 公益財団法人鳥取県国際交流財団

(5) 内 容

ア 演題 「ロシア語の魅力」

イ 講師 黒田 龍之助 氏（神田外語大学特任教授）

ウ 内容 スラヴ諸語をはじめとして様々な言語に精通し、外国語を紹介する本を多数執筆する講師が、ロシア語の魅力を紹介する

(6) 参加人数 51名

(7) 参加者の感想

- ・ロシア語学習のモチベーションが上がった。
- ・デザイン性の美しさや発音等ロシア語の魅力を知り、興味を持った。
- ・ロシア語の魅力を知ることもちろん、様々な外国語にも興味がわいた。

3 第3回（東部会場）開催結果

(1) 日 時 平成30年12月8日（土）午後2時から4時まで

(2) 会 場 鳥取県立図書館 2階 大研修室

(3) 後 援 公益財団法人鳥取県国際交流財団

(5) 内 容

ア 演題 「中国からの漢字の受容と日本での広がり」

イ 講師 阿辻 哲次 氏 (漢字文化研究所所長)

ウ 内容 志賀島金印と卑弥呼の時代の状況から、平城京出土木簡に見える国字、漢音と呉音の使い分け、漢字かなまじり文の発生と展開等について見ていく。

(6) 参加人数 45名

(7) 参加者の感想

- ・漢字の話というとなんか難しそうイメージだったが、わかりやすく面白かった。
- ・漢字の成り立ちの歴史がよくわかった。
- ・今回の内容を連続講座にして、さらに詳しく知りたいと思った。

4 成果

- ・参加者は高校生から高齢者まで様々な立場の方があり、言語の学習者にも、初心者にも満足いただける内容だった。また、県外からの参加者もあった。
- ・開催後は関連図書の貸出も多く、共催館へも問い合わせが多かった。
- ・共通の話題を得て、参加者同士のコミュニケーションへと繋がっている場面もあった。
- ・やさしい英語を楽しく大量に読むことで英語に親しんでいく英語多読への関心が高く、英語教諭や学校関係者の参加もあった。

5 今後の取り組み

参加者層が幅広く、国際理解及び生涯学習の一端を担っていると感じられるので、今後も継続、発展していくことで豊かな生涯学習の場として定着していきたい。

英語については、多読の講演会を継続するとともに、新たなる多読のワークショップを開催していきたい。また、教育現場での英語が注目されている中、学校等への支援にも取り組みたい。

鳥取県が交流している環日本海の国々についても、引き続き図書館としての交流や、国際理解のための活動をしていきたい。



第1回講演会様子



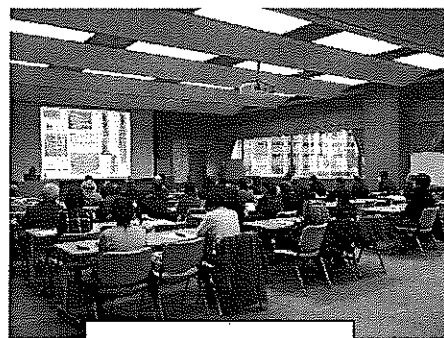
第1回 関連図書展示風景



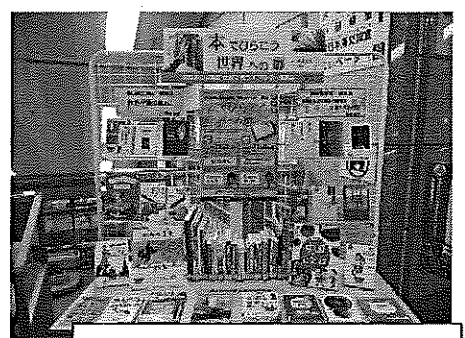
第2回講演会様子



第2回 関連図書展示風景



第3回講演会様子



第3回 関連図書展示風景